

小鹿野町学校施設長寿命化計画(案)に関するパブリックコメント実施結果

小鹿野町学校施設長寿命化計画(案)に関するパブリックコメントを実施した結果、提出されたご意見及び意見に関する考え方を次のとおり公表いたします。

1 実施概要

- (1)実施期間 令和2年12月28日(月)～令和3年2月1日(月)
- (2)周知方法 ①小鹿野町ホームページへの掲載
②小鹿野庁舎・両神庁舎・文化センター・両神ふるさと総合会館・保健福祉センター
- (3)提出方法 1名(書面1名)
- (4)意見の数 2件

2 意見の内容並びに意見を考慮した結果及びその理由

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方・対応等
1	<p>建築コストについて</p> <p>試算条件の建築コストが高過ぎる。</p> <p>新築が出来る金額なので、順次小規模校舎を建てる。</p>	<p>改築単価は、建設物価調査会「2020 1 冬 建築コスト情報」、その他の単価は、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の単価を活用しています。</p> <p>既存の学校施設を総合的な観点で捉え、長期間利用するものは長寿命化するため、適正に改修、改築等を行いコストの縮減、平準化が図れるよう努めていきます。</p>
2	<p>閉校後の校舎の利活用について</p> <p>古い校舎は補助金を返済しているのだから、多目的施設として第三者に賃貸に出し、将来の解体費用に充当する。</p> <p>各校舎別に試算を出した上で処分の仕方を考える。現在は、不景気なので計画予算の5～7割が実行費となる。</p> <p>学校施設は頑丈に建築されているし、地震の少ない小鹿野では外回りの防水工事をすれば100年は利用できるのではないか。壊すのは簡単であるが作るのは大変なので、今後起こるであろう東海地震の避難場所や横瀬町芦ヶ久保小学校の様に多目的に利用出来るのではないか。</p> <p>管理も大変な事なので、地元の自治会に頼む。地元に住なければ有志の方に頼んでみる。</p>	<p>学校が閉校した後の施設の利活用につきましては、各校舎別に解体費用を試算した上で、地域での利活用や公共的団体又は民間事業者での活用等、多様な活用方法を広く検討していくことで、計画にご意見を反映させていただきます。[P14]</p> <p>また、本計画では、既存の学校施設について、必要な改修工事及び長寿命化改修工事を計画的に行っていくことで、建築後80年以上使用することを目指しています。</p>